

2020年03月13日

小児循環器科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

**【対象となる方】**2013年1月～2018年3月の間に、小児循環器科に入院し、先天性心疾患術後6週間以内に肺動脈狭窄病変に対してカテーテル治療を受けられた方。

**【研究課題名】**先天性心疾患術後早期の外科デザイン径に基づいた段階的カテーテル治療の有効性と安全性の検討

**【研究責任者】**国立循環器病研究センター 小児循環器科 医師 黒寄健一

**【研究の目的】**

先天性心疾患術後早期の肺動脈狭窄病変に対して外科デザイン径に基づいて施行する段階的カテーテル治療の有効性と安全性に関して調査、検討するため。

**【利用する診療情報】**

カテーテル治療時年齢、性別、診断、手術施行年月日、手術施行時年齢、体重、手術内容、肺動脈径、術後肺動脈狭窄部位、カテーテル治療前後の状態①循環不全の有無②使用循環作動薬③動脈血酸素飽和度または経皮的酸素飽和度、重症低酸素血症の有無、人工呼吸管理の有無、体外式膜型人工肺の装着の有無、カテーテル治療年月日、狭窄部径、参照血管径、病変部圧較差、使用バルーン径、バルーン拡張圧、ステント治療の有無、ステント径、病変部治療効果、急性期治療効果、カテーテル治療関連合併症の有無とその内容、初回カテーテル治療から12週間までの対象病変に対する外科的再介入の有無。

**【研究期間】**研究許可日より 2023年3月31日まで(予定)

**【個人情報の取り扱い】**

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

**【問合せ先】** 国立循環器病研究センター 小児循環器科 担当医師 黒寄健一  
電話 06-6170-1070(代表) (内線 60337)